第一編
死亡・障害事例と
事故防止の留意点

第一編の利用に当たって

1　第一編は、平成29年度に独立行政法人日本スポーツ振興センターが「死亡見舞金」「障害見舞金」「供花料」を支給した全事例 479 件を整理、分類し、統計的に死亡、障害の発生の傾向を示すとともに、「事例（発生状況）」と「学校生活における事故防止の留意点」を掲載した。

なお、医療費を支給した負傷・疾病（継続給付分を除く）件数については、第二編に掲載した。

2　構成は、「死亡編」「障害編」「供花料編」の 3 編に分け、それぞれの事例を掲載した。

3　「供花料」における支給対象事例とは、学校の管理下における死亡で、損害賠償を受けたこと等により、死亡見舞金が支給されなかった災害事例である。

4　学校種は、「小学校」「中学校」「高等学校等・高等専門学校」「特別支援学校」及び「幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等」に分類した。

※小学校に義務教育学校の前期課程を、中学校に義務教育学校の後期課程と中等教育学校の前期課程を、高等学校等に中等教育学校の後期課程及び平成29年度から対象となった高等専修学校を含む。

また、保育所等には、保育所型認定こども園、幼稚園型認定こども園の保育機能施設部分、地方裁量型認定こども園、特定保育事業（家庭的、小規模、事業所内保育事業）を行う施設、平成29年度から対象となった一定の基準を満たす認可外保育施設及び企業主導型保育施設が含まれる。

5　事例は、「各教科等（含保育中）」「特別活動（除学校行事）」「学校行事」「課外指導」「休憩時間」「寄宿舎にあるとき」「通学中（通園中）」での事故に分類した。なお、道徳、自立活動、総合的な学習の時間については編集の都合上、各教科等に含め、また、学校行事は常であれば、特別活動に含まれるが、特に事例が多いため別立てとした。

6 「学校生活における事故防止の留意点」を掲載した。本書が平成29年度における死亡、障害を対象としているところから、この範囲の事例について述べるとともに、学校で日ごろ留意すべき点について、以下の先生方に執筆を依頼した。

学校生活における事故防止の留意点

（1）	小学校編	元東京都世田谷区立塚戸小学校	校長	
		元全国学校安全教育研究会	会長	永山　満義　氏
（2）	中学校編	東京学芸大学	教授	渡邉　正樹　氏
（3）	高等学校等・高等専門学校及び特別支援学校編			
		学校安全教育研究所	代表	戸田　芳雄　氏
（4）	幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等編			
		福岡大学	准教授	小柳　康子　氏

7　事例の内容については、個人情報に触れることがないよう、学校名、個人名、地名等は除いた。なお、欄の記載内容はそれぞれ次のとおりである。

【死亡編・供花料編】	事例番号	被災学校種学年・性別	死因
【障害編】	事例番号	被災学校種学年・性別	障害種別

（複数の症例の場合は、一番重い症例）

8　事例の中で、『学校の出来事による死亡』とあるのは、児童生徒等の安全な学校生活を妨げる特別な事実のことである。

死　亡　編

Ⅰ　学校の管理下の死亡の状況

◇　学校の管理下の死亡の発生件数（平成29年度　給付対象事例）

表－１　場合別の発生件数

◯は突然死数で内数

場合		競技種目	小学校		中学校		高等学校等・高等専門学校		特別支援学校			幼稚園･幼連･保育所等		総計
各教科等	体育（保健体育）	準備・整理運動			1	①								1
	その他の教科				1		1	①						2
保育中												3	③	3
特別活動（除学校行事）	給食指導		2	②										2
	日常の清掃		1											1
	その他				1									1
学校行事	文化的行事						1							1
	遠足		1	①										1
	修学旅行		1				1							2
	その他集団宿泊的行事						1	①						1
課外指導	体育的部活動	陸上競技(その他)					1	①						1
		サッカー・フットサル			1	①	1							2
		テニス（含ソフトテニス）			1	①								1
		野球（含軟式）			2	②	2	①						4
		ハンドボール					1	①						1
		バスケットボール			1	①								1
		球技（その他）					2	①						2
		登山					7							7
休憩時間	休憩時間中				2	①			高	1	①			3
	始業前の特定時間中				1				高	1	①			2
	授業終了後の特定時間中						2							2
寄宿舎にあるとき							2							2
通学中	登校（登園）中		2		4	①	2	①	小	1	①			9
	下校（降園）中		1		1				小	1				3
	通学（通園）に準ずるとき						1		高	1	①			2
総計			8	③	16	⑧	25	⑦		5	④	3	③	57

※幼連：幼保連携型認定こども園の略

表－２　死因別の発生件数

死因別＼学校種別		小学校	中学校	高等学校等・高等専門学校	特別支援学校			幼稚園･幼連･保育所等	総計
					小	中	高		
突然死	突心臓系	1	5	1	1		3	1	12
	突中枢神経系	2		2				1	5
	突大血管系		3	4				1	8
	小　計	3	8	7	1	0	3	3	25
頭部外傷		2	4	3					9
溺死		1		1					2
窒息死（溺死以外）		2		10	1				13
熱中症			1	1					2
全身打撲			2	2					4
電撃死			1	1					2
総　計		8	16	25	2	0	3	3	57

表－３　男女別の発生件数

	小学校	中学校	高等学校等・高等専門学校	特別支援学校			幼稚園･幼連･保育所等	総計
				小	中	高		
男	4	14	18	1		2	1	40
女	4	2	7	1		1	2	17
総　計	8	16	25	2	0	3	3	57

1　小学校における死亡の事例

〔Ⅰ〕特別活動（除学校行事）

（1）給食指導

29死-1	小3年・女	心臓系突然死

本児童は、既往症があり、小学校入学後、特別支援学級に所属していた。交流学級で給食を取り始めて間もなく、チアノーゼと意識混濁が認められた。保健室に搬送、救急車を要請した。意識が戻らず心臓マッサージをし、病院に搬送したが、同日死亡した。

29死-2	小6年・男	中枢神経系突然死

給食中、本児童が担任にトイレに行くと申し出た。しばらく戻らなかったため、様子を見に行くと、個室内で苦しそうにしている本児童を発見、すぐに救急車を要請した。到着までの間、呼び掛けに対応せず、呼吸も停止したため、AEDを装着するとともに心肺蘇生を続けていた。救急車からドクターヘリで病院に搬送され治療を受けたが、同日死亡した。

（2）日常の清掃

29死-3	小4年・男	頭部外傷

本児童が教室の清掃活動中、同学級の別の児童と本児童との間に、頭、背中等を複数回叩かれるというトラブルが発生した。午後1時40分に担任教諭が、当該学級が担当している他の清掃場所から戻ったところ、本児童が自席で泣いており、周囲の児童から事情を聴いているうちに、本児童はその場で意識を失った。午後1時48分、担任教諭は本児童を保健室に搬送した。脈はあったが、意識はなく通常呼吸ではなかったので、AEDと心肺蘇生を実施した。救急車を要請、病院に搬送手術を受けたが、約1か月後に死亡した。

〔Ⅱ〕学校行事

（1）遠足

29死-4	小5年・女	中枢神経系突然死

バス遠足で公園に到着し、全体指導後、グループ行動を開始した。本児童たちはネットで遊んだり、すべり台を滑ったりしているのを巡回の教諭が目撃している。午前10時頃、付近のベンチで本児童が座っていたので、別の教諭が声を掛けたところ「頭が痛い。気持ちが悪い。」と訴え、2～3分座っていた後、顔を横にし、ややうつ伏せ状態にして足を伸ばし横にして休ませたが、そのうち鼻水をすするような寝息を立て始めた。起きるように声を掛けたが反応がなく顔色も悪かったので、救急車を要請、到着まで心肺蘇生をした。AEDも使用したが「電気ショックの必要なし」だった。病院に搬送され、治療を受けたが、意識を回復しないまま、約1か月後に死亡した。

（２）修学旅行

29死-５	小６年・女	溺死

本児童は、修学旅行に来ていて、ホテルで入浴中、浴室内で心肺停止状態で発見され、病院に搬送されたが同日死亡した。

〔Ⅲ〕通学中

（１）登校（登園）中

❶徒歩

29死-６	小３年・男	頭部外傷

登校時、友人と一緒に登校しようと思い、４階自宅から友人のいる７階に上がったが、友人がいなかったため、踊り場から手すりに手を掛け、跳び上がって下をのぞき込んだ際にバランスを崩し、転落したものと思われる。

29死-７	小３年・女	窒息死（溺死以外）

修了式のため午前８時頃自宅を出たが、その後行方不明になり、数日後に排水路で発見された。

（２）下校（降園）中

❶徒歩

29死-８	小１年・男	窒息死（溺死以外）

友人と一緒に帰宅途中、ランドセルを背負ったまま遊具で遊んでいた。すべり台を滑ろうと、正方形の格子の上を渡って向かおうとしたところ、足が滑り、格子にランドセルと体が挟まった状態になり首が格子の棒で圧迫された。すぐそばにいた大人に助けを求め、救急搬送され、病院で心肺蘇生を行った結果、蘇生したが意識は戻らず数か月後に死亡した。

２　中学校における死亡の事例

〔Ⅰ〕各教科等

（１）体育（保健体育）

❶準備・整理運動

29死-９	中３年・男	心臓系突然死

体育の授業中、体育館でランニング10周した後、準備運動を行った。最後の馬跳びくぐりの後、本生徒はペアの男子に寄りかかり、その後２、３歩、歩いた後、突然意識を失い床に倒れた。養護教諭が直ちに駆けつけたが、意識、呼吸、脈がなかったので、AEDを使用し救急車を要請、病院に搬送、救命処置と心拍再開後の集中治療を行ったが、同日死亡した。

（２）その他の教科

29死-10	中２年・女	頭部外傷

２時間目の授業中、身体測定が行われている保健室に本生徒が現れなかったため、担任等で探したところ、校地内中庭で倒れていた。３階の渡り廊下から飛び降りたと見られる。

〔Ⅱ〕特別活動（除学校行事）

（１）その他

29死-11	中３年・男	電撃死

学校の出来事による死亡

〔Ⅲ〕課外指導

（１）体育的部活動

❶サッカー・フットサル

29死-12	中２年・男	心臓系突然死

サッカー部の活動中、学校に隣接する公園で、１周800mのコースの２周目（総距離約1200m）をランニング中に急に倒れた。公園にいた人と部員で心臓マッサージを行った。救急搬送された後、集中治療室で治療を受けたが、数日後に死亡した。

❷テニス（含ソフトテニス）

29死-13	中１年・男	大血管系突然死

ソフトテニス部の活動中、校内をランニング中の部員がトイレに入った際、トイレ（個室）からゴホンと咳き込む音がしたことから、本生徒がランニング中にトイレに入ったのだろうと判断した。体調不良を心配してランニングの周回ごとに声を掛けたが、応答がなくトイレ（個室）には内から鍵が掛けられていた。不審に思い下からのぞくと倒れ込んでいるような感じだったので急きょ職員に連絡した。職員が駆けつけ、保健室に搬送、応急処置を行うとともに救急車を要請、病院で救命活動が続けられたが、同日死亡した。

❸野球（含軟式）

29死-14	中２年・男	心臓系突然死

野球部の活動中、練習メニューの「10分間走」終了２分前に、ふらふらと膝を曲げ、崩れるようにうつ伏せにグラウンドに倒れた。呼び掛けに反応なく、すぐに心肺蘇生とAEDを用いた処置を行い、救急隊の処置とともに病院に搬送、集中治療室で経過を見ていたが、翌日死亡した。

29死-15	中２年・男	心臓系突然死

野球部活動の練習中、ウォーミングアップとして１周約433mの校内コースを、１周ウォーキングし、その後各自のペースで２周ジョギングをし、終了後休憩した。１塁側ベンチ付近で水分補給などを行い、筋力トレーニングを行うため、グラウンド南にある鉄棒付近に移動を始めたときに本生徒が倒れた。異変に気付いた顧問が駆け寄り他の部活の顧問とともに部員が持ってきたAEDをセットした。１回目のショックを与えたが、意識や呼吸・脈の回復はなかった。その後、救急車が到着、ドクターヘリで搬送され、治療を受けたが、翌日死亡した。

❹バスケットボール

29死-16	中１年・男	心臓系突然死

バスケットボール部の練習中、ターンダッシュの際に前のめりに倒れた。顧問は、意識と呼吸がないことを確認し、胸骨圧迫を行った。他の教諭が救急車を要請、病院に搬送され、救命処置を受けたが、同日死亡した。

〔Ⅳ〕休憩時間

（１）休憩時間中

29死-17	中１年・男	大血管系突然死

３時間目の授業後、美術室から教室に歩いて戻り、自分の席に座っていた。席から立った際に急にうしろに倒れ仰向け状態になった。倒れたときに「あーあー」と声を上げた。教員が駆けつけ心肺蘇生を続けながら救急隊を待ち、到着後は救急車で消防署まで搬送、ドクターヘリで病院へ搬送後、治療を受けたが同日死亡した。

29死-18	中３年・男	頭部外傷

８人の友人たちと持ってきたスマホで写真をとるため、立ち入り禁止の柵を越え、窓から屋上へ出た。校舎に戻ろうと屋上の柵を乗り越えた際に、勢い余って足を滑らせて１号館１階のトイレの屋上に落下した。すぐに職員が駆けつけたが、心肺停止、呼吸停止の状態だった。AEDを装着し、気道を確保した。救急隊に引き継ぎ病院に搬送されたが、翌日死亡した。

（２）始業前の特定時間中

29死-19	中２年・男	全身打撲

学校に出来事による死亡

〔Ⅴ〕通学中

（1）登校（登園）中

❶徒歩

29死-20	中3年・男	頭部外傷

登校中、踏切内で電車と接触し全身を強打した。病院へ搬送されたが、同日死亡した。

❷バス

29死-21	中3年・男	大血管系突然死

登校時、スクールバスの中で体調不良になり横になった。スクールバスが学校に到着したときには意識がなかった。救急隊が到着したが、心肺停止状態だった。病院で治療を受けたが、同日死亡した。

❸鉄道

29死-22	中1年・女	全身打撲

電車で登校中、乗り換えのため下車しなければならない駅を乗り越し、その先の駅で下車した。本生徒は同駅ホームをフラフラと歩いていて、ホームの先頭辺りで下り電車と右頭部が接触した。

❹自転車

29死-23	中1年・男	頭部外傷

午前7時45分頃、部活動に参加するため自転車で家を出た。本生徒が川の中にうつぶせに倒れているのを男性が発見した。救急治療を受けるも、同日死亡した。

（2）下校（降園）中

❶自転車

29死-24	中1年・男	熱中症

学校からの下校時に自宅前路上で倒れた。意識消失、左腕けいれんあり。近隣住民の通報により救急車を要請し、病院に救急搬送された。救急車到着までの間は、ペットボトルで体を冷やすなど通報した住民らによる応急手当が行われた。その後、搬送先の病院にて治療が行われたが、一度も意識が回復することはないまま、数日後死亡した。

3　高等学校等・高等専門学校における死亡の事例

〔Ⅰ〕各教科等

（1）その他の教科

29死-25	高2年・女	大血管系突然死

持病のある生徒で、授業中に苦しいので座らせてほしいとの訴えがあり、続いて下痢が出てしまったと訴えがあった。近くにいた教員、看護師が頻脈、過呼吸気味であることに気付き、保健室へ車いすで搬送した。保健室到着時にはチアノーゼを認め、呼吸が浅く速いため、すぐに救急車を要請した。バイタルチェックをしながら搬送準備を行い、救急隊に引き継ぎ、医療機関へ搬送されたが、同日死亡した。

〔Ⅱ〕学校行事

（1）文化的行事

29死-26	高1年・男	全身打撲

文化祭中に、校舎外横で本生徒が倒れていた。校舎から転落したとのことで、職員と養護教諭が担架・救急バッグを持って、現場に急行し救命処置をした。意識は鮮明で、右上腕部の骨折が確認できた。その後、救急隊により病院に搬送、検査と治療を受けていたところ、急変し同日死亡した。

（2）修学旅行

29死-27	高2年・女	溺死

修学旅行中、友人と4人で遊泳区域内の海で行動していたところ、本生徒を含む2名が溺れた。周囲の生徒が異変に気付き、数名の生徒と近くにいた教員が本生徒を引き上げ救助した。救助された際、意識、呼吸はなかった。現場で治療を行い、ドクターヘリで病院に搬送した。意識は回復せず、数日後に死亡した。

（3）その他集団宿泊的行事

29死-28	高1年・男	大血管系突然死

研修旅行中にホテルに宿泊していた。研修2日目の夜、教員による点呼実施時には異常はなかった。点呼終了後、自室で過ごしていたところ肺の痛みが出現し呼吸困難になった。自力で部屋を出て廊下で意識を失い呼吸が停止した。すぐに救命処置をし、救急車で病院に搬送され処置を受けたが同日死亡した。

〔Ⅲ〕課外指導

（1）体育的部活動

❶陸上競技（その他）

29死-29	高1年・男	中枢神経系突然死

陸上部部活動中、タイヤにひもを付けたものを腰で引く筋力トレーニングを行ったあと、体調不良を訴え木陰で水分を摂りながら休んでいたが、意識消失したため救急車にて救急搬送した。病院で治療を行ったが、数日後に死亡した。

❷サッカー・フットサル

29死-30	高1年・男	熱中症

部活動顧問指導の下、ウォーミングアップ・基礎練習後、ランニング（約9.5km、40分から60分コース）を行った。学校まで残り200mの付近で意識を失い倒れた。10時30分頃の気温27.5℃、湿度45%であった。事故直後、近所の方が、介抱・救急車を要請、病院に搬送された。高度医療の必要性などもあり転院し、治療を続けたが、数か月後に死亡した。

❸野球（含軟式）

29死-31	高1年・男	電撃死

他高校のグラウンドで野球の練習試合を行っていた。守備についていたところ突然の落雷に遭い負傷した。（事故発生時、雲は出ていたものの晴れており、雷鳴等落雷の兆候は全くなかった。）高校に隣接する消防署員の救命処置を受け、救急車で病院に搬送・入院加療を行ったが、意識は戻らず数か月後に死亡した。

29死-32	高2年・女	心臓系突然死

野球部マネージャーだった本生徒は、学校から3.5km離れた球場での練習を終え、監督の指示で学校までの帰路をランニングで帰ってきた。学校にたどり着いたとき、玄関近くの自転車小屋の前で倒れた。救急要請から５分後に救急隊が到着、病院に向かった。車内では何度か除細動器や薬剤投与され、そのまま入院した。しかし一度も意識が戻らず数週間後に死亡した。

❹ハンドボール

29死-33	高2年・男	大血管系突然死

ハンドボール部活動中だった。午前中の練習を終え、昼休憩を挟んで13時30分よりゲーム形式の練習を行った。本生徒はゴールキーパーとして守備につき、ゴールの上の方を狙ったシュートを伸び上がりながら両手でセービングして着地したときに背中の痛みを感じ、コートから出て座って休んだ。数分経っても状況の改善が見られなかったので、顧問が付き添い救急車で病院搬送した。病院での検査で異常がなかったので帰宅した。夕方になっても痛みが治まらず病院で再度検査したが異常はなかったため帰宅した。翌日夕方自宅で意識消失、救急車で搬送されたが、同日死亡した。

❺球技（その他）

29死-34	高3年・男	頭部外傷

アメリカンフットボールの試合中、相手選手と正面衝突し、臀部から地面に転倒した。すぐ

に立ち上がったが、ふらつき横向きに倒れた。すぐに担架で運び、チームドクターが確認したところ、救急車を要請、病院で手術を受けICUで治療を受けたが数日後に死亡した。

29死-35	高３年・男	中枢神経系突然死

アメリカンフットボール部の練習終了後に本生徒の表情がいつもと違うことに気付いた顧問が声を掛けたところ、「頭が痛い」と言った。顧問が「頭が痛いときは、練習を抜けないといけないよ」と伝えた。本生徒は着替えの後、トレーニングセンター前で２回、外トイレで１回吐いた。異変に気付いた他の生徒が顧問に連絡、救急要請、病院に搬送、検査を受けたが「まだ頭痛がする」とのことで同日は入院することになった。ベッドへ移った途端、容体が急変し、心肺停止となった。医師が蘇生をし、心臓の動きは戻ったが、意識が戻らず約14か月後に死亡した。

❻登山

29死-36～39	高１年・男（４件）	窒息死（溺死以外）
29死-40～42	高２年・男（３件）	

登山部活動で「春山安全登山講習会」が行われていた。雪上訓練中に雪崩に巻き込まれた。

〔Ⅳ〕休憩時間

（１）授業終了後の特定時間中

29死-43	高１年・女	窒息死（溺死以外）

学校の出来事による死亡

29死-44	高２年・女	全身打撲

学校の出来事による死亡

〔Ⅴ〕寄宿舎にあるとき

29死-45	高１年・女	窒息死（溺死以外）

本生徒は、学校敷地内の寮で生活をしていた。当日朝、食事に来ないので、寮母が声を掛けたところ食堂に来た。しかし、洗顔をして「後から食べる。」と言い部屋に戻った。15分ほどしても来ないので、再度寮母が部屋に呼びに行った。返事がないのでドアを開けたところ、暗闇の中、立った状態で気を失っているように見えた。職員室に連絡をし複数名の教諭が駆け付けた。すぐに救急救命措置を施すが、AEDは作動しない旨のアナウンスがあった。病院に搬送後、心臓、呼吸は戻ったが意識は戻らず死亡した。

29死-46	高専４年・男	窒息死（溺死以外）

午後10時に寮舎監が学生の点呼をした際、本学生がいないことが発覚し、舎監が部屋を訪ねノックをしたが応答がないため、合鍵で入室したところ、首を吊った状態で発見された。

〔Ⅵ〕通学中

（1）登校（登園）中

❶自転車

29死-47	高1年・男	頭部外傷

学校での出来事による死亡

29死-48	高3年・男	大血管系突然死

登校中に胸が苦しくなってうずくまっているところを他の生徒が発見し、近くの中学校の教員に助けを求めて対応した。当初は、意識もあったが、会話はできない状況で、呼吸もしづらく苦しそうであった。しばらくして意識を失った。救急車内で心肺蘇生を実施、病院に搬送後手術を行ったが、数週間後に死亡した。

（2）通学（通園）に準ずるとき

❶その他

29死-49	高3年・女	頭部外傷

本生徒は持病があった。当日は部活動での新入生歓迎会に参加予定であったが、忘れ物をしたとして学校に登校し、その直後に5階から転落した。救急隊が応急処置をし病院に搬送されたが、同日死亡した。

４　特別支援学校における死亡の事例

〔Ⅰ〕休憩時間

（１）休憩時間中

29死-50	特高３年・男	心臓系突然死

本生徒が排泄のためトイレに入室した。担任が本生徒を呼びにトイレに入室し、呼び掛けたところ、返答がないため、扉上から状況を確認し、本生徒が意識なく、倒れているところを発見した。救急要請とAED心臓マッサージを行い、延命治療を行ったが翌日死亡した。

（２）始業前の特定時間中

29死-51	特高１年・男	心臓系突然死

スクールバスで登校し、担任がバスの中へ迎えに行ったところ、顔面・口唇が真っ白で、呼吸停止の状態であった。意識の確認の際、ビクッと全身が一度動いたが呼び掛けに反応する様子が見られなかった。すぐに胸骨圧迫を行い、救急要請、診療所に運ばれ治療を受けたが、同日死亡した。

〔Ⅱ〕通学中

（１）登校（登園）中

❶自動車

29死-52	特小６年・男	心臓系突然死

本児童は持病があり、祖父の自動車で登校中、後部座席に座っていた本児童に２、３回声を掛けたが顔色が悪かったため車を止めて確認したところ、呼吸が停止していた。すぐに救急車を要請し、救急隊員の指示を聞きながら、人工呼吸等の心肺蘇生法を実施した。本児童は心肺停止の状態で、病院へ搬送された。治療を受けたが、意識は回復せず約１か月後に死亡した。

（２）下校（降園）中

❶バス

29死-53	特小３年・女	窒息死（溺死以外）

下校時のスクールバス車内で、咳き込んで口から唾液が出ている状態の本児童に乗務員が対応している際、呼吸困難・チアノーゼの症状が出たので、バス内で呼吸介助をした。降車バス停に迎えに来ていた母が吸引し、祖母が心臓マッサージをした。救急隊に引き継いだときには、心肺停止状態だった。ICUで治療を受けたが、翌日死亡した。

（3）通学（通園）に準ずるとき

❶その他

29死-54	特高2年・女	心臓系突然死

見学旅行において現地解散後、保護者とフェリーに乗船中、保護者が本生徒の体調異変に気付いた。消防署員が乗船し処置を施した。港に到着後病院に搬送されたが死亡した。

5　幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等における死亡の事例

〔Ⅰ〕保育中

29死-55	保１歳・女	大血管系突然死

通常の保育を受けていたが、昼食を全く食べなかった。体温が38.7℃だったので、寝かせて様子を見ていたところ本児童は顔色が悪く、口から唾液を流している様子だったため、救急車を要請、病院に搬送されたが同日死亡した。

29死-56	幼連６歳・男	心臓系突然死

ふだんどおり登園、元気に挨拶をし、いつもと変わらない様子であった。体育遊びの時間は、縄跳びであったため、見学した。外で見学させていると「寒い」と言ったため、検温すると37.1℃。他の部屋に行き暖かい部屋で過ごした。２階の保育室に戻り、給食準備し、席に着いたところで、本児が気分が悪い、吐きたいと訴えたため、副担任付添いにより、手洗い場に行った。手洗い場で嘔吐し、手と口を洗った後、ゆっくりと力が抜けるように倒れた。顔面蒼白になり、意識もなかったので、すぐに救急車を呼び、救急隊が、心臓マッサージ、AEDを行った。病院に搬送後、ドクターヘリで別の医療機関に移ったが、同日死亡した。

29死-57	保６歳・女	中枢神経系突然死

園から徒歩５～８分ほど歩いたところにある公園で園外活動中、転倒して立ち上がれず、「頭が痛い」と言い、嘔吐を伴っていた。看護師が救急車を呼んでいる最中激しい頭痛が起こり、意識を消失した。病院に搬送、手術をするも同日死亡した。